

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 24.7.31 第 180 回国会第 6 号

7 月 31 日（火）第 6 回の委員会が開かれました。

1 笹木委員長から就任の挨拶が行われました。

2 理事の辞任及び補欠選任

・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 吉 良 州 司君（民主）

補欠選任 理事 藤 田 憲 彦君（民主）（理事宮島大典君去る 6 日委員辞任につきその補欠）

理事 小 原 舞君（民主）（理事吉良州司君今 31 日理事辞任につきその補欠）

理事 渡 辺 義 彦君（生活）（去る 6 日の議院運営委員会における理事の各会派割当基準の変更に伴う選任）

3 国の安全保障に関する件（平成 23 年度以降に係る防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画）

・玄葉外務大臣、森本防衛大臣、齋藤内閣官房副長官、渡辺防衛副大臣及び神風防衛大臣政務官に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

渡 辺 義 彦君（生活）

- ・ 7 月 26 日の本会議において、我が国の防衛関係費が 10 年連続で削減されていること及びその多くが人件費等に充てられていることについて、野田内閣総理大臣は、必要な予算は確保できていると答弁しているが、森本防衛大臣の防衛費に対する見解を伺いたい。
- ・ 安全保障の専門家であり、集团的自衛権行使容認論者であった森本防衛大臣には、集团的自衛権行使容認に向けた議論を活発化させ、その道筋を築いていただきたいと考えるが、森本防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・ 政府が尖閣諸島の国有化を検討した動機及び真意並びに国有化後の活用方針についての検討状況について、齋藤内閣官房副長官に伺いたい。

神 山 洋 介君（民主）

- ・ 防衛大綱は防衛力整備に関する内容が主になっていることから、今後防衛大綱よりも上位に位置する、安全保障全般の系統立った戦略の策定が必要と考えるが、防衛省の認識を伺いたい。
- ・ 日本版 NSC（国家安全保障会議）の設立に関する検討状況はどのようになっているのか、齋藤内閣官房副長官に伺いたい。
- ・ サイバー攻撃への対処については、内閣官房情報セキュリティセンターの機能強化等体制の整備とサイバー攻撃に対する自衛権行使の可否を含む概念の整理が必要であ

ると考えるが、防衛省の認識及び取組について伺いたい。

高 橋 昭 一君（民主）

- ・ 純国産装備品である 03 式中距離地对空誘導弾、10 式戦車及び P 1 固定翼哨戒機について、現在における配備状況、今後の配備計画及びこれまでの装備との比較における優位性について、防衛省に伺いたい。
- ・ 防衛装備品は可能な限り純国産化する必要があると考えるが、我が国の「防衛生産・技術基盤」を維持・発展させるために必要な戦略の方向性について、防衛省の認識を伺いたい。
- ・ 本年 4 月に、武器輸出三原則等の包括的緩和後初めて合意された英国との装備品の共同開発は、具体的にはどのような装備品を想定しているのか、防衛省に伺いたい。

岩 屋 毅君（自民）

- ・ 在日米軍の「装備における重要な変更」の際に行われる「事前協議」は、これまで一度も行われたことがなく、形骸化しているが、今回の CH46 から MV22 オスプレイへの換装のような国民の関心の高い事項については、日米間でその取扱いを協議する新たな制度を構築すべきではないのか、森本防衛大臣に伺いたい。
- ・ 7 月 26 日の衆議院本会議において、野田内閣総理大臣は、尖閣諸島を含む我が国領土・領海への周辺国の不法行為に対し、「自衛隊を用いることも含め」対応する旨答弁し

たことについて、いたずらに外交的緊張を高める発言をするべきではないと考えるが、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。

- ・航空自衛隊の次期戦闘機に選定されたF35Aについて、米国内でも会計検査院（GAO）やシンクタンク「ヘリテージ財団」が当該機の単価高騰や納期遅延についての懸念を指摘しているが、これらの懸念に対する防衛省の見解を伺いたい。

今 津 寛君（自民）

- ・北方領土問題について、7月28日の日露外相会談及びブーチン露大統領との会談を踏まえ、同問題解決に向けた今後の具体的方策について、玄葉外務大臣に伺いたい。
- ・集団的自衛権を行使できるようにするための憲法改正を目指しながら、米国向けの弾道ミサイルの迎撃等を現行憲法でも可能であると解釈すべきであるとするが、森本防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・PKO協力法に関しては、自衛隊によるいわゆる「駆けつけ警護」や宿営地の他国軍隊との共同防衛を可能とする改正を行うべきと考えるが、同法改正案を今国会中に提出する意思の有無について、玄葉外務大臣に伺いたい。

中 谷 元君（自民）

- ・本年4月13日の北朝鮮による人工衛星と称するミサイル発射事案において、内閣官房が取りまとめた検証チーム報告書では、防衛省中央指揮所の情報を共有するため官邸対策室に設置されている情報伝達のための端末の利用状況について記載されていないが、米国の早期警戒情報は防衛省から官邸対策室にどのように伝わっていたのか、齋藤内閣官房副長官に伺いたい。
- ・何故オスプレイを10月までに普天間飛行場に配備しなければならないのかを説明すれば、同機配備に対する国民の理解が深まると考えるが、その理由について、森本防衛大臣に伺いたい。
- ・武器輸出三原則等の包括的緩和を受け、F35Aの共同開発に参画することの可否及びその必要性に対する森本防衛大臣の見解を伺いたい。

東 順 治君（公明）

- ・日中の海洋関係省庁などが危機管理メカニズムについて話し合う「海洋協議」においては、現在中断しているガス田開発を協議の対象外とすることを、両国政府間で合意していると聞いているが、玄葉外務大臣に事実関係を伺いたい。
- ・拉致問題解決のためにも、今でも対話の窓は開いている

とのシグナルを北朝鮮側に送るべきと考えるが、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。

- ・7月26日の衆議院本会議におけるオスプレイの安全性に係る分析評価チームに沖縄県の有識者等を含めるべきではないかとの質問に対し、野田内閣総理大臣からは明瞭なお答えはいただけなかったが、森本防衛大臣はどのように認識しているのか伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・7月24日、沖縄県与那国町への自衛隊部隊誘致の賛否を問う住民投票実施を求める署名簿が同町選挙管理委員会に提出されたが、本住民投票が実施された場合、森本防衛大臣には、その投票結果に示された民意に従う意思があるのかどうか伺いたい。
- ・与那国町への自衛隊部隊配備に係る環境現況調査は、昨年度及び本年度でそれぞれ何回行われ、その目的は何だったのか、防衛省に伺いたい。
- ・MV22オスプレイのオートローテーション機能に関しては、米専門家からも疑念が呈されている状況に鑑み、実際にオートローテーションが機能するかどうかについて、米側に改めて照会する必要があるのか、森本防衛大臣に伺いたい。

照 屋 寛 徳君（社民）

- ・次期防衛大綱の策定に当たっては、決定前に国会で議論を行い、その結果を反映した上で、防衛大綱を決定する方式に改めるべきと考えるが、森本防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・沖縄防衛局は与那国町に職員を派遣しているが、普天間代替である海上ヘリポート受入れの賛否を問う名護市の住民投票（1997年）に際しては、那覇防衛施設局（当時）が現地事務所を設置し、職員が戸別訪問をして住民投票で賛成票を投じるよう説得したことに批判の声があがったことにかんがみ、このような活動は控えるべきではないのか、防衛省に伺いたい。
- ・護衛艦「たちかぜ」に勤務していた1等海士が自殺したことに関する損害賠償請求訴訟の控訴審で、本件訴訟の国側指定代理人であった3等海佐が「国は調査資料を隠蔽している」との陳述書を東京高裁に提出したことについて、森本防衛大臣は、6月19日の記者会見で、当該陳述書を読んでいないにもかかわらず、「3等海佐の主張の中には、必ずしも正しいとは思えないような内容が含まれている」などと述べたことは、はなはだ不謹慎であるとするが、本件訴訟についての防衛省からの説明は、いつ、誰から受けたのか、森本防衛大臣に伺いたい。